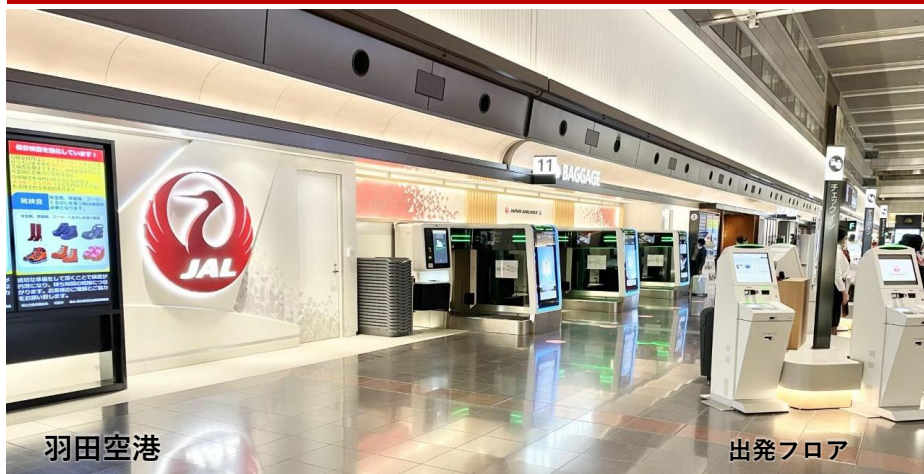


日本航空株式会社 2022年3月期 決算説明会



JAPAN AIRLINES



羽田空港

出発フロア



新千歳空港

自動チェックイン・発券機



伊丹空港

チェックインカウンター



那覇空港

スペシャルアシスタンスカウンター



福岡空港

自動手荷物預け機

「JAL SMARTAIRPORT」国内5空港への展開完了

2022年5月6日
代表取締役専務執行役員 菊山英樹

©Japan Airlines, All rights reserved.



APEX

WORLD CLASS



APEX

Health Safety Powered
by SimpliFlying Audit
Diamond



SKYTRAX

Covid-19 Safety Rating
5-Star



SKYTRAX

COVID-19 Excellence Award



SKYTRAX

World Airline Star Rating
5-Star



SKYTRAX

2021年度

World's Best Economy Class

Best Economy Class Airline Seat

ディスクロージャー
2021年度 優良企業



IR グッドビジュアル賞
実行委員会

第9回 IRグッドビジュアル賞



JobRainbow

ベストワークプレイス
D&I Award賞



work with Pride



「PRIDE指標2021」
ゴールド賞



NPO法人J-Win

2021 J-Win
ダイバーシティ・アワード
アドバンス部門 準大賞
経営者アワード



総務省

「テレワーク先駆者百選」
総務大臣賞



健康経営優良法人
ホワイト500

1. 2022年3月期 業績概要
2. 2023年3月期 業績予想
3. 2022年3月期 業績詳細
4. 参考資料

2020年度決算より、国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。

これに伴い、当資料における2019年度の数値はIFRSに基づいた値に組み替えて比較分析しております。

なお、明記されていない限り、数値にはLCC⁽²⁾を含みます。

FY21Q4(1月 - 3月)の実績はFY21Q4累計実績(4月 - 3月)からFY21Q3累計実績(4月 - 12月)を差し引いて算出しております。

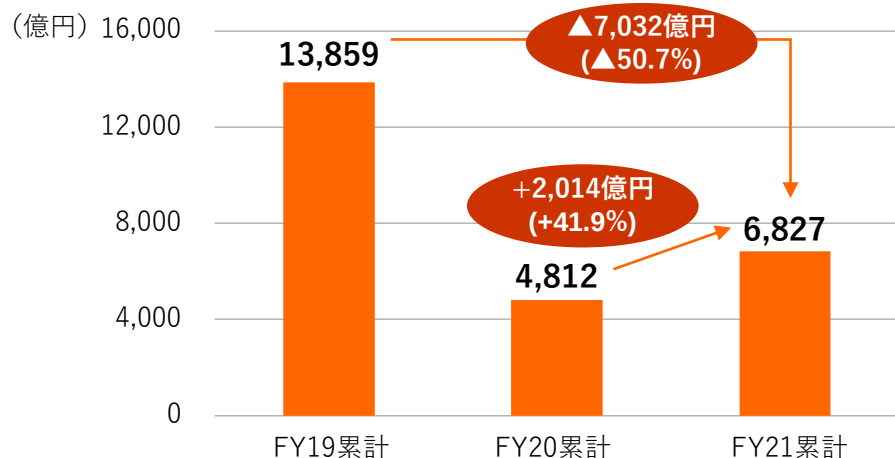
スプリング・ジャパンについては、取得日から6月末までの業績に重要性がないため、同社の7月以降の業績を数値に含めております。

2022年3月期 業績概要



✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、売上収益・EBITは着実に回復

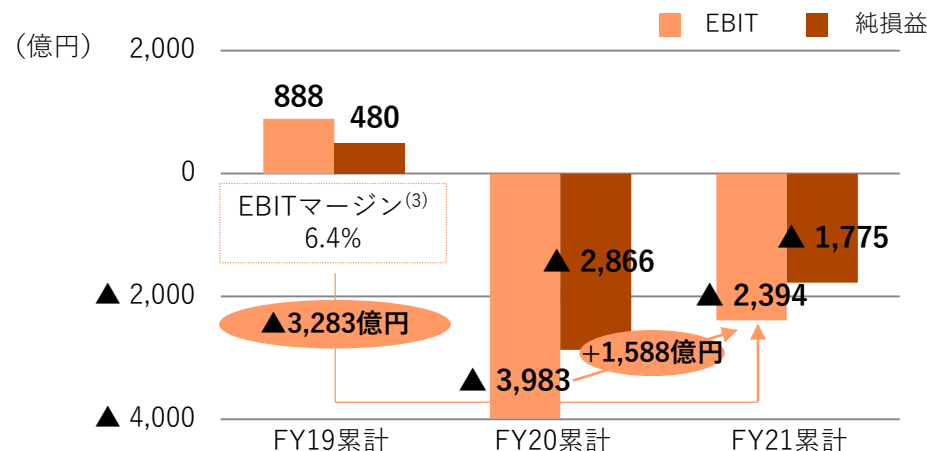
売上収益



燃油・為替市況実績

	FY20	FY21	FY20比
シンガポールケロシン (USD/bbl)	43.5	81.6	+87.6%
ドバイ原油 (USD/bbl)	42.0	74.3	+76.9%
為替 (円/USD)	106.0	111.6	+5.3%

EBIT (1)/純損益 (2)



運航諸元/ASK

	FY19比	FY20比
国際線	▲54.3%	+100.8%
国内線	▲31.9%	+26.8%
合計	▲45.3%	+55.4%

(1) EBIT=財務・法人所得税前損益 (税引前損益から利息等の財務収支を除いたもの) (2) 純損益=親会社の所有者に帰属する当期損益

(3) EBITマージン=EBIT/売上収益

1. 2022年3月期 業績概要
2. 2023年3月期 業績予想
3. 2022年3月期 業績詳細
4. 参考資料

2023年3月期 通期連結業績予想について



- ✓ 通期連結業績予想は、着実な旅客需要の回復を前提に、売上収益：13,900億円、EBIT：800億円、純利益：450億円、今期末までに復配を目指す
- ✓ 前年度から3,190億円の収支改善、コロナ前（2020年3月期）水準の利益を目指す

通期業績予想				
(単位：億円)	2021年度	2022年度		
	実績	今回予想	前年差	前年比
売上収益	6,827	13,900	+7,072	+103.6%
国際旅客	708	3,950	+3,241	+457.2%
国内旅客	2,357	5,320	+2,962	+125.7%
貨物郵便	2,183	2,080	▲103	▲4.7%
他の売上収益 ⁽¹⁾	1,577	2,550	+972	+61.7%
営業費用	9,402	13,250	+3,847	+40.9%
燃油費	1,454	2,900	1,445	+99.4%
燃油費以外	7,947	10,350	2,402	+30.2%
その他収支 ⁽²⁾	180	150	▲30	▲16.7%
EBIT	▲2,394	800	+3,194	-
純損益	▲1,775	450	+2,225	-

フルサービスキャリア

回復する需要を捉え
大幅増収

FY22 売上高
9,020億円

貨物・郵便

昨年度からの
好調維持

FY22 売上高
2,080億円

フルサービスキャリア + 貨物・郵便

FY22 EBIT 400億円

LCC

観光需要回復により
収支改善を目指す

FY22 売上高
380億円

FY22 EBIT(*)
収支均衡へ

マイル・ライフ・インフラ

持続的な成長に加え、
果敢な挑戦を

FY22 売上高
2,420億円

FY22 EBIT
400億円

※持分法による投資損益を含む
(ジェットスタージャパン)

- ・ 上記の事業領域別の売上高・EBITについては、社内管理上の簡便的手法で試算したものであり、事業セグメント別の売上・利益ではありません
- ・ 上記の事業領域区分は、航空運送事業セグメント、その他とは一対一で対応しておりません

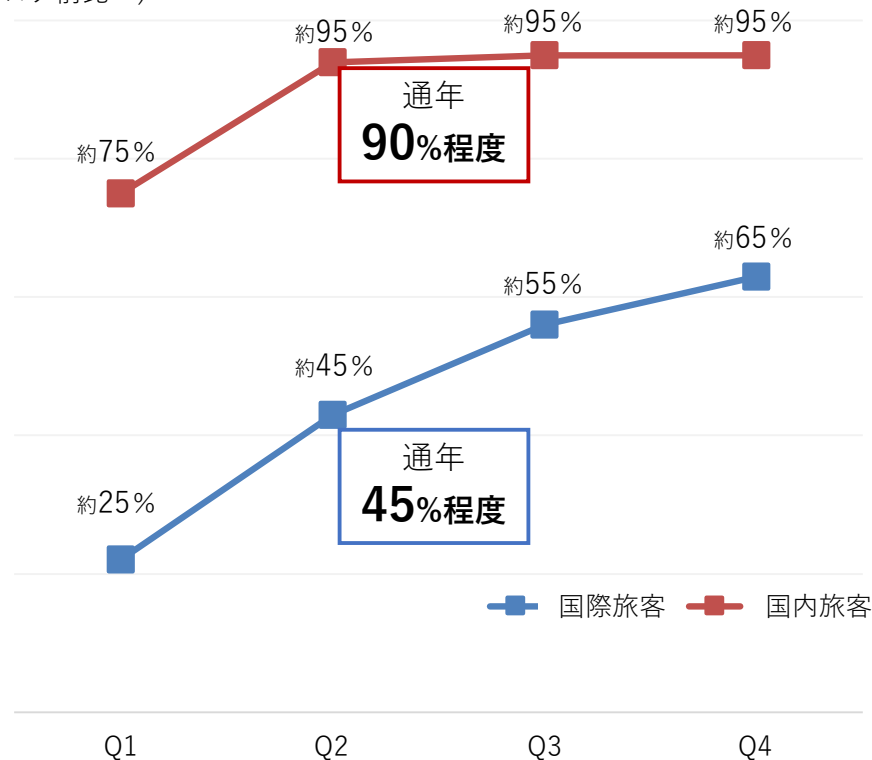
2023年3月期 通期連結業績予想の前提



- ✓ 国際旅客需要は、各国の出入国規制の緩和に伴い徐々に回復へ
- ✓ 国内旅客需要は、本格的な回復を見込み、第2四半期以降には概ねコロナ前の水準へ
- ✓ 燃油・為替市況の変動リスクに対しては、ヘッジと燃油サーチャージにより、収支への影響を一定程度抑制可能

旅客需要見通し

(コロナ前比⁽¹⁾)



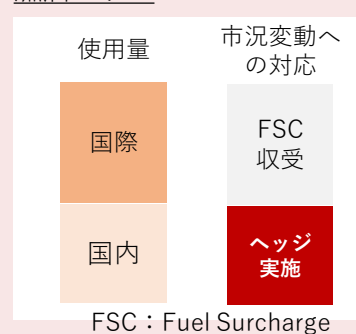
燃油・為替の市況変動による利益影響⁽²⁾

(ヘッジ、燃油サーチャージ込、億円)

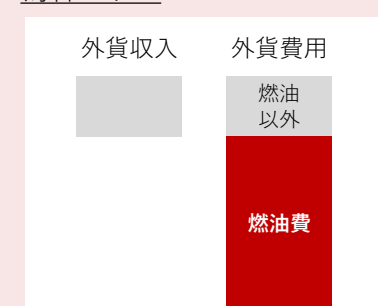
シンガポールケロシン (USD/bbl) 為替(円/USD)	100ドル	110ドル	120ドル	130ドル	140ドル
130円	▲10	▲40	▲110	▲160	▲180
125円	▲10	▲40	▲30	▲80	▲120
120円	+60	+40	予想前提 0	▲60	▲90
115円	+60	+50	+20	0	+10

- 2023年3月期の現時点のヘッジ率は **44%** (本日時点)

燃油ヘッジ



為替ヘッジ

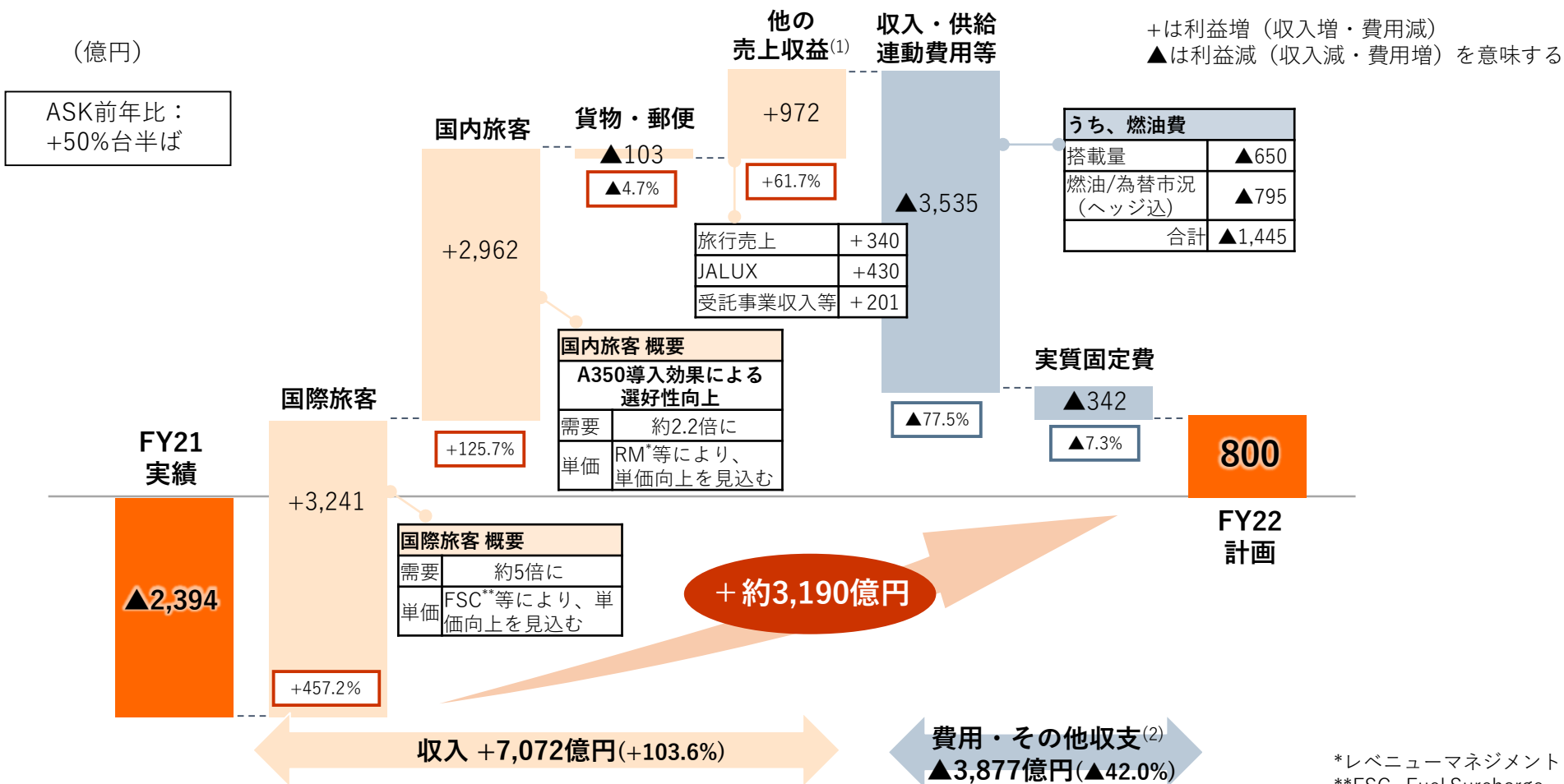


2023年3月期 通期連結業績予想 詳細

EBIT増減の推移（収入／費用）



- ✓ 国際・国内旅客収入は需要回復に伴い大幅増収、貨物も好調を維持し前年度並の収入を確保
- ✓ 実質固定費は5,000億円以下に抑制、部門別採算制度を活用したコストマネジメントを徹底



(1) 他の売上収益=旅行・マイル提携・受託事業収入など

(2) その他収支 = 航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支

*レベニューマネジメント
**FSC=Fuel Surcharge

1. 2022年3月期 業績概要
2. 2023年3月期 業績予想
- 3. 2022年3月期 業績詳細**
4. 参考資料

2022年3月期 業績詳細

連結経営成績



(単位：億円)			累計						単独	
	FY19	FY20	FY21	FY19		FY20		FY21Q4	FY20Q4	
				同期差	同期比	同期差	同期比		同期差	同期比
売上収益	13,859	4,812	6,827	▲ 7,032	▲50.7%	+2,014	+41.9%	1,842	+595	+47.8%
国際旅客	4,862	279	708	▲ 4,153	▲85.4%	+429	+153.4%	224	+133	+146.6%
国内旅客	5,297	1,740	2,357	▲ 2,939	▲55.5%	+617	+35.5%	612	+242	+65.3%
貨物郵便	916	1,288	2,183	+1,267	+138.2%	+895	+69.5%	573	+194	+51.3%
他の売上収益 ⁽¹⁾	2,783	1,504	1,577	▲ 1,206	▲43.3%	+72	+4.8%	431	+25	+6.3%
営業費用	13,088	8,850	9,402	▲ 3,686	▲28.2%	+551	+6.2%	2,522	+227	+9.9%
燃油費	2,434	967	1,454	▲ 979	▲40.2%	+486	+50.3%	436	+204	+88.0%
燃油費以外	10,654	7,882	7,947	▲ 2,706	▲25.4%	+65	+0.8%	2,086	+23	+1.1%
その他収支 ⁽²⁾	117	55	180	+62	+53.0%	+125	+227.2%	118	+111	+1489.3%
EBIT	888	▲3,983	▲ 2,394	▲ 3,283	-	+1,588	-	▲ 561	+479	-
EBITマージン(%)	6.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
純損益	480	▲2,866	▲ 1,775	▲ 2,256	-	+1,091	-	▲ 492	+247	-
ASK (百万席キロ)	90,109	31,707	49,271	▲ 40,838	▲45.3%	17,564	+55.4%	13,441	4,635	+52.6%
RPK (百万人キロ)	73,048	11,485	18,292	▲ 54,755	▲75.0%	6,807	+59.3%	5,203	2,641	+103.1%
EBITDAマージン(%) ⁽³⁾	18.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(1) 他の売上収益=旅行・マイル提携・受託事業収入など (2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (3) EBITDAマージン=EBITDA/売上収益

2022年3月期 業績詳細 EBIT増減の推移 (収入／費用)



ASK前年同期比： +55.4%
RPK前年同期比： +59.3%

+は利益増（収入増・費用減）
▲は利益減（収入減・費用増）を意味する

+1,588億円

(億円)

雇用調整助成金の受給・出向等により
約220億円の人件費抑制

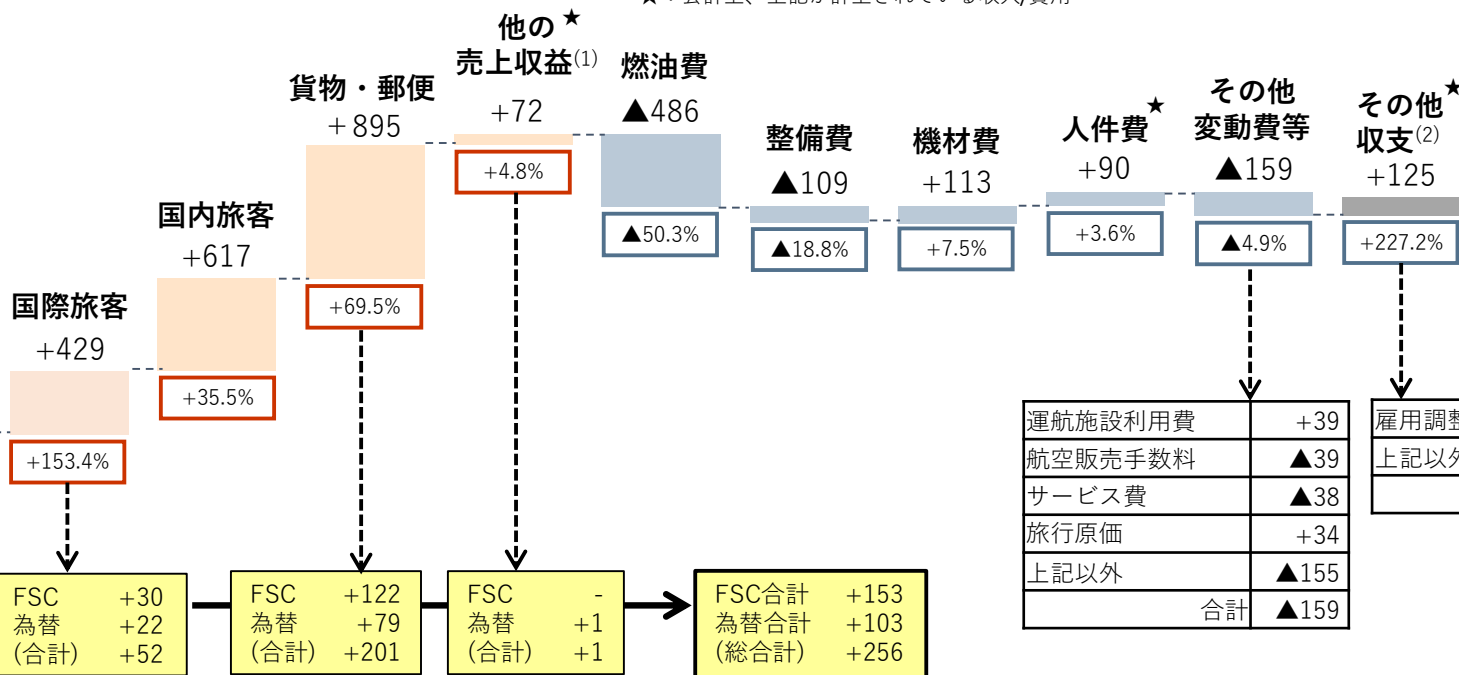
★：会計上、上記が計上されている収入/費用

▲3,983

▲2,394

FY20
累計

FY21
累計



*FSC=Fuel Surcharge

(1) 他の売上収益=旅行・マイル提携・受託事業収入など

(2) その他収支 = 航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支

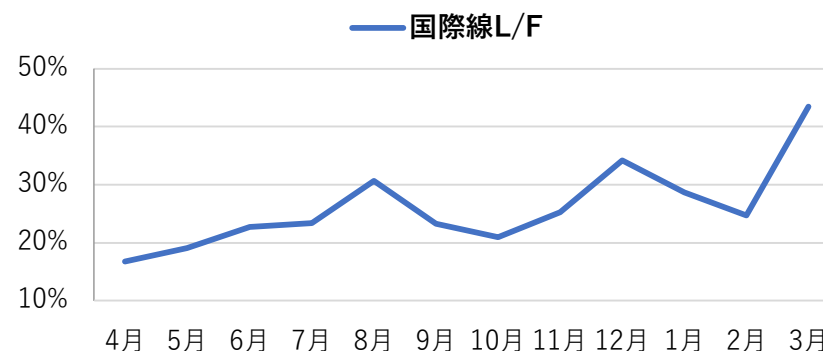
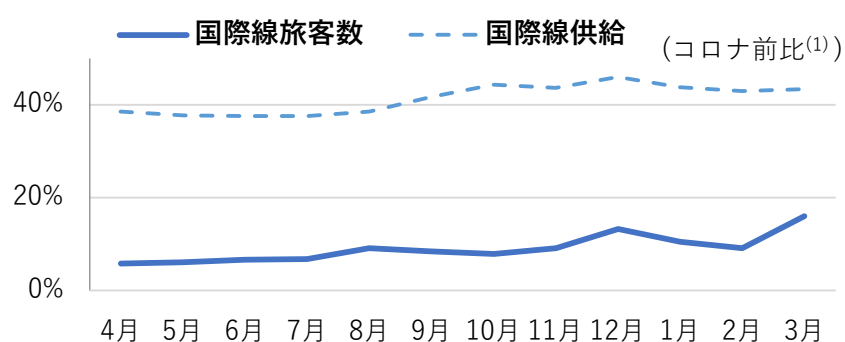
©Japan Airlines, ALL rights reserved.

2022年3月期 業績詳細

国際旅客事業（フルサービスキャリア）



✓ 日本・諸外国の出入国規制緩和が進み、アジアー北米間の通過・日本発着需要が緩やかに回復



国際旅客事業 ⁽²⁾	累計					単独	
	FY19	FY20	FY21	FY19比	FY20比	FY21Q4	FY20Q4比
旅客収入（億円）	4,862	279	687	▲85.9%	+146.4%	216	+139.0%
有償旅客数（千人）	8,958	357	892	▲90.0%	+149.6%	297	+169.2%
ASK（百万席キロ）	53,910	11,918	22,780	▲57.7%	+91.1%	5,948	+28.7%
RPK（百万人キロ）	45,551	2,196	6,027	▲86.8%	+174.4%	1,938	+175.7%
有償座席利用率（%）	84.5%	18.4%	26.5%	▲58.0pt	+8.0pt	32.6%	+17.4pt
単価（円） ⁽³⁾	54,274	78,085	77,073	+42.0%	▲1.3%	72,878	▲11.2%
イールド（円） ⁽⁴⁾	10.7	12.7	11.4	+6.9%	▲10.2%	11.2	▲13.3%
ユニットレベニュー（円） ⁽⁵⁾	9.0	2.3	3.0	▲66.5%	+28.9%	3.6	+85.7%

(1) 2019年度比。但し、1-3月はFY19Q3決算発表時に開示した業績予想値の前提となる需要予想値

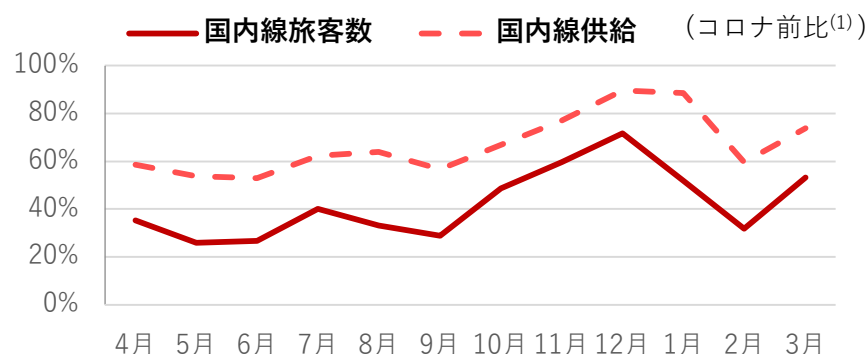
(2) LCCを除く (3) 単価=旅客収入/有償旅客数 (4) イールド=旅客収入/RPK (5) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

2022年3月期 業績詳細

国内旅客事業（フルサービスキャリア）



- ✓ 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令等により、旅客需要は一進一退を繰り返すも、感染者数の減少やワクチン接種の進展により、年度末には着実に回復



国内旅客事業 ⁽²⁾	累計					単独	
	FY19	FY20	FY21	FY19比	FY20比	FY21Q4	FY20Q4比
旅客収入 (億円)	5,297	1,740	2,351	▲55.6%	+35.1%	610	+64.6%
有償旅客数 (千人)	36,411	12,212	16,238	▲55.4%	+33.0%	4,250	+70.6%
ASK (百万席キロ)	36,199	19,452	24,535	▲32.2%	+26.1%	6,650	+67.8%
RPK (百万人キロ)	27,496	9,282	12,089	▲56.0%	+30.2%	3,176	+71.3%
有償座席利用率 (%)	76.0%	47.7%	49.3%	▲26.7pt	+1.6pt	47.8%	+1.0pt
単価 (円) ⁽³⁾	14,548	14,249	14,478	▲0.5%	+1.6%	14,350	▲3.5%
イールド (円) ⁽⁴⁾	19.3	18.7	19.4	+1.0%	+3.7%	19.2	▲3.9%
ユニットレベニュー (円) ⁽⁵⁾	14.6	8.9	9.6	▲34.5%	+7.1%	9.2	▲1.9%

(1) 2019年度比。但し、1-3月はFY19Q3決算発表時に開示した業績予想値の前提となる需要予想値

(2) LCCを除く (3) 単価=旅客収入/有償旅客数 (4) イールド=旅客収入/RPK (5) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

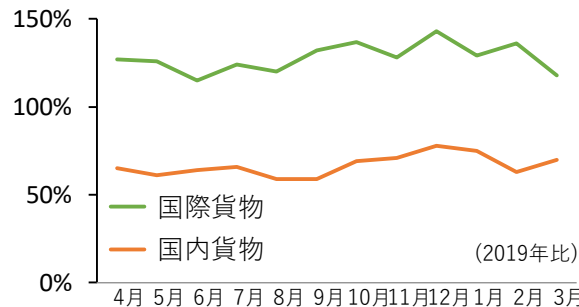
2022年3月期 業績詳細

貨物事業

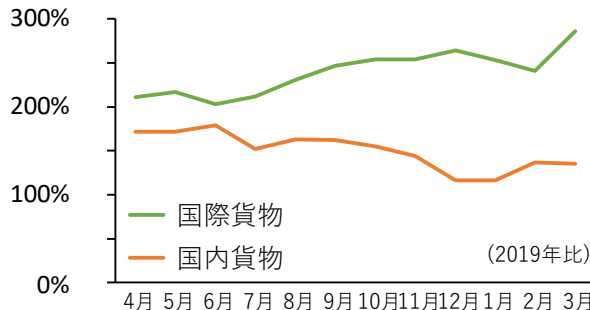


- ✓ 国際貨物は、旺盛な需要に対応すべく自社旅客機および他社貨物機を最大限に活用し、大幅な増収を達成
- ✓ 国内貨物は、旅客便の減便による供給減にもかかわらず、好調な宅配需要等により、安定的に収入を確保

物量



単価



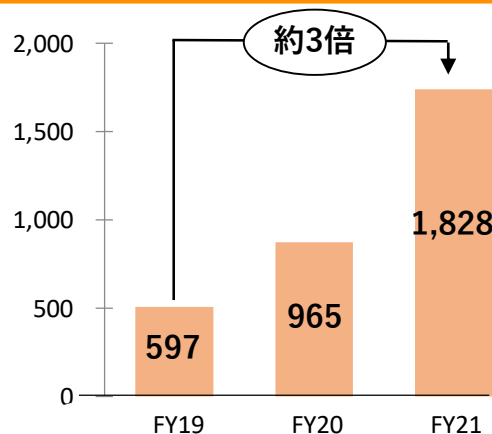
国際貨物

- 年度を通じて、海上からの転移需要や半導体や自動車関連の需要が旺盛
- 方面別では北米路線が極めて好調

国内貨物

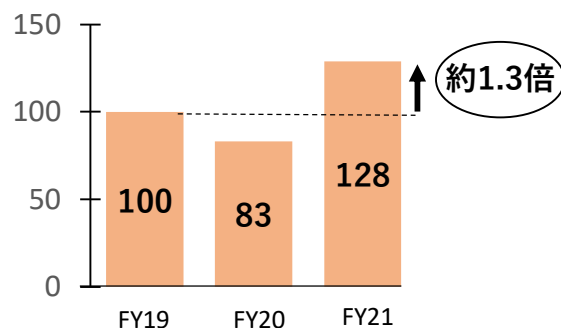
- 年度末に飲食店向けの生鮮が一部回復

国際貨物収入 (億円)



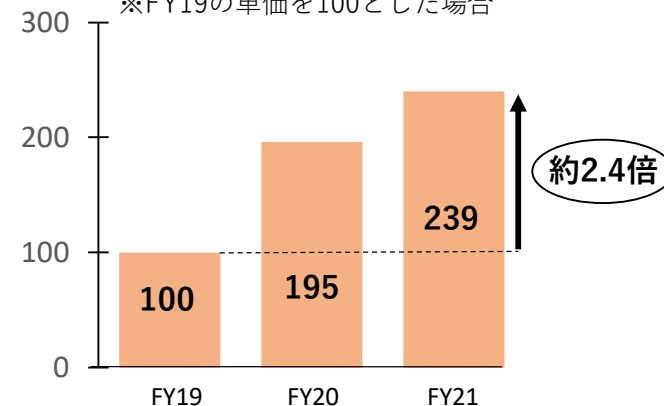
物量 (※)

※FY19の物量を100とした場合



単価 (※)

※FY19の単価を100とした場合



2022年3月期 業績詳細

費用詳細



- ✓ 実質固定費は当初想定5,000億円から▲343億円削減し、4,657億円まで抑制
- ✓ 需要減に対応した柔軟な供給調整により、変動費は収入増加分の約37%増に抑制

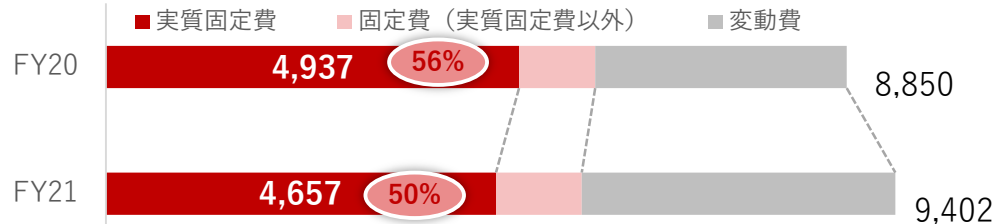
主要営業費用項目

(単位：億円)	累計							単独		
	FY19	FY20	FY21	FY19		FY20		FY21Q4	FY20Q4	
				同期差	同期比	同期差	同期比		同期差	同期比
燃油費	2,434	967	1,454	▲979	▲40.2%	+486	+50.3%	436	+204	+88.0%
運航施設利用費	848	384	345	▲502	▲59.2%	▲39	▲10.2%	85	▲1	▲1.5%
整備費	740	581	691	▲48	▲6.6%	+109	+18.8%	189	+34	+22.1%
航空販売手数料	170	37	77	▲92	▲54.5%	+39	+105.3%	24	+10	+71.0%
サービス費 ⁽¹⁾	444	110	148	▲296	▲66.6%	+38	+34.9%	40	+11	+38.5%
他運航変動費 ⁽²⁾	2,041	915	1,030	▲1,011	▲49.5%	+114	+12.5%	267	+25	+10.5%
機材費 ⁽³⁾	1,341	1,515	1,401	+60	+4.5%	▲113	▲7.5%	378	▲79	▲17.3%
人件費 ⁽³⁾	2,913	2,548	2,457	▲455	▲15.7%	▲90	▲3.6%	621	+4	+0.7%
その他の費用 ⁽³⁾	2,155	1,788	1,795	▲360	▲16.7%	+6	+0.4%	479	+18	+3.9%
営業費用合計	13,088	8,850	9,402	▲3,686	▲28.2%	+551	+6.2%	2,522	+227	+9.9%

変動的要素や
一時的要素を除外

実質固定費⁽⁴⁾

営業費用の内訳



(1) サービス費=機内・ラウンジ・貨物などのサービスに関わる費用 (2) 他運航変動費=旅行・マイル提携・受託事業原価 など

(3) 科目上固定費となるが、運航規模・旅客数等による変動的要素がある費用や事業構造改革に伴う一時的/追加的な費用を含む

(4) 実質固定費とは科目上の固定費のうち、運航規模・旅客数等による変動的要素がある費用や事業構造改革に伴う一時的/追加的な費用を除いた費用

2022年3月期 業績詳細

財務状況・キャッシュフロー状況



- ✓ ハイブリッド・ファイナンス実施により格付評価上の自己資本比率は41.1%、
ネットD/Eレシオも0.3倍と健全な水準を維持

(単位：億円)

連結財政状態計算書	FY20期末	FY21期末	FY20期末差
総資産	21,072	23,716	+2,643
現金及び預金	4,083	4,942	+858
有利子負債	5,151	9,284	+4,133
1年内返済(※1)	696 (205)	867 (144)	+171 (▲60)
自己資本 ⁽¹⁾	9,474	7,997	▲1,477
自己資本比率(%) ^{(2)(※2)}	45.0%	33.7% (41.1%)	▲11.2pt
D/Eレシオ(倍) ⁽³⁾	0.5x	1.2x	+0.6x
ネットD/Eレシオ(倍) ^{(4)(※3)}	0.1x	0.5x (0.3x)	+0.4x
連結キャッシュフロー計算書	FY20	FY21	FY20差
営業キャッシュフロー	▲2,195	▲1,035	+1,159
減価償却費	1,824	1,784	▲39
投資キャッシュフロー	▲910	▲1,737	▲827
投資・出資額	▲978	▲1,895	▲917
フリーキャッシュフロー ⁽⁵⁾	▲3,105	▲2,773	+332
財務キャッシュフロー	3,886	3,592	▲293
キャッシュフロー合計 ⁽⁶⁾	780	819	+38
EBITDA ⁽⁷⁾	▲2,158	▲610	+1,548

※1 ()内の数字は、1年内返済のうち航空機リース料

※2 ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを加味した格付評価上の自己資本比率

※3 ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを加味した格付評価上のネットD/Eレシオ

- (1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
- (2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
- (3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
- (4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債－現金及び預金)/自己資本
- (5) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
- (6) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー
- (7) EBITDA=EBIT+減価償却費

1. 2022年3月期 業績概要
2. 2023年3月期 業績予想
3. 2022年3月期 業績詳細
4. 参考資料

参考資料

国際線大路別実績⁽¹⁾（フルサービスキャリア）



旅客収入

(単位:%)	累計			単独	
	FY21 構成比率	FY19比	FY20比	FY21Q4 構成比率	FY20Q4比
米大陸線	46%	▲77.0%	+234.0%	42%	+141.5%
欧州線	15%	▲86.6%	+102.9%	14%	+132.9%
アジア・ オセアニア線	28%	▲87.5%	+116.3%	33%	+155.1%
中国線	8%	▲89.4%	+36.8%	8%	+60.4%
ハワイ・グアム線	3%	▲96.9%	+287.1%	3%	+370.4%
全路線	100%	▲85.9%	+146.4%	100%	+139.0%

ASK

(単位: 百万席キロ)	累計			単独	
	FY21	FY19比	FY20比	FY21Q4	FY20Q4比
米大陸線	10,962	▲33.8%	+91.2%	2,737	+20.3%
欧州線	4,467	▲44.0%	+70.0%	990	+2.8%
アジア・ オセアニア線	6,530	▲65.1%	+97.4%	1,849	+43.6%
中国線	308	▲90.7%	+115.9%	128	+130.3%
ハワイ・グアム線	511	▲93.0%	+379.2%	242	+510.1%
全路線	22,780	▲57.7%	+91.1%	5,948	+28.7%

RPK

(単位: 百万人キロ)	累計			単独	
	FY21	FY19比	FY20比	FY21Q4	FY20Q4比
米大陸線	3,195	▲77.5%	+229.2%	955	+169.0%
欧州線	840	▲87.6%	+104.8%	242	+133.7%
アジア・ オセアニア線	1,711	▲89.1%	+141.1%	646	+202.6%
中国線	103	▲96.0%	+49.9%	31	+63.8%
ハワイ・グアム線	176	▲97.2%	+387.4%	63	+448.0%
全路線	6,027	▲86.8%	+174.4%	1,938	+175.7%

有償旅客数

(単位:千人)	累計			単独	
	FY21	FY19比	FY20比	FY21Q4	FY20Q4比
米大陸線	342	▲77.3%	+235.3%	103	+175.0%
欧州線	90	▲87.9%	+100.7%	25	+125.4%
アジア・ オセアニア線	377	▲91.0%	+125.4%	142	+185.2%
中国線	52	▲96.1%	+43.7%	15	+63.0%
ハワイ・グアム線	28	▲97.4%	+385.3%	10	+442.3%
全路線	892	▲90.0%	+149.6%	297	+169.2%

有償座席利用率

(単位:%)	累計			単独	
	FY21	FY19	FY20	FY21Q4	FY20Q4
米大陸線	29.2%	85.9%	16.9%	34.9%	15.6%
欧州線	18.8%	84.7%	15.6%	24.4%	10.7%
アジア・ オセアニア線	26.2%	83.6%	21.5%	34.9%	16.6%
中国線	33.4%	77.0%	48.2%	24.5%	34.5%
ハワイ・グアム線	34.5%	86.5%	33.9%	26.2%	29.1%
全路線	26.5%	84.5%	18.4%	32.6%	15.2%

参考資料

航空機一覧



			前期末 2021/3/31				当期末 2022/3/31				増減
			所有	リース	合計1	合計2 退役済み機材除く	所有	リース	合計1	合計2 退役済み機材除く	当期末合計2- 前期末合計2
フルサービスキャリア	大型機	Airbus A350-900	4	4	8	8	11	4	15	15	+7
		Boeing 777-300ER	13	0 ⁽¹⁾	13	13	13	0 ⁽¹⁾	13	13	-
		Boeing 777-300	4	0	4	0	4	0	4	0	-
		Boeing 777-200ER	11	0	11	6	8	0	8	5	▲1
		Boeing 777-200	9	0	9	0	4	0	4	0	-
	大型機 小計		41	4	45	27	40	4	44	33	+6
	中型機	Boeing 787-9	17	3	20	20	19	3	22	22	+2
		Boeing 787-8	27	0	27	27	25	0	25	25	▲2
		Boeing 767-300ER	29	0	29	29	29	0	29	29	-
		Boeing 767-300	2	0	2	2	0	0	0	0	▲2
	中型機 小計		75	3	78	78	73	3 ⁽¹⁾	76	76	▲2
	小型機	Boeing 737-800	43	18	61	61	47	12	59	58	▲3
		小型機 小計	43	18	61	61	47	12	59	58	▲3
	リージョナル機	Embraer 170 / Embraer 190	32	0	32	32	32	0	32	32	-
		De Havilland DHC-8-400CC	5	0 ⁽¹⁾	5	5	5	0	5	5	-
		SAAB340B	3	0	3	2	0	0	0	0	▲2
		ATR42-600 / ATR72-600	10	1	11	11	12	1	13	13	+2
		リージョナル機 小計	50	1	51	50	49	1	50	50	-
	フルサービスキャリア 合計		209	26	235	216	209	20	229	217	+1
LCC	Boeing 787-8	2	0	2	2	4 ⁽²⁾	0	4	4	+2	
	Boeing 737-800	0	0	0	0	0	6	6	6	+6	
	LCC 合計		2	0	2	2	4	6	10	10	+8
総計		211	26	237	218	213	26	239	227	+9	

(1) 合計1と合計2の差異は期末時点における退役済み(売却待ち)機材 (2) スプリング・ジャパンの連結化による増加

明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

本資料には、日本航空株式会社（以下「当社」といいます）及びそのグループ会社（以下当社とあわせて「当社グループ」といいます）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点（又はそこに別途明記された時点）において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点（又はそこに別途明記された時点）のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。

従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。